

長寿命核種の分離変換技術に関する 研究開発の現状と今後の進め方

参考資料

平成12年3月31日

原子力委員会

原子力バックエンド対策専門部会

目 次

1. 日本原子力研究所における分離変換技術の研究開発
2. 核燃料サイクル開発機構における分離変換技術の研究開発
3. 電力中央研究所における分離変換技術の研究開発
4. 分離変換技術の効果と意義
 - 4-1 地層処分における分離変換技術の効果
 - 4-2 資源としての有効利用について
 - 4-3 マイナーアクチニド及び長寿命核分裂生成物の減少量とそれに要する時間について
 - 4-4 二次廃棄物の発生について
 - 4-5 短期的な放射線被ばく線量の増加について
 - 4-6 経済性について

今回の会議にて配布した資料は多量な資料の為、入手を希望される方は下記3機関において閲覧・複写（有料）に応じております。

●原子力公開資料センター（東京都文京区白山5-1-3-101）

TEL 03（5804）8484 東京富山会館ビル6F

土・日・祝日、10／1日は休館

●未来科学技術情報館（東京都新宿区西新宿）

TEL 03（3340）1821 新宿三井ビル1F

第2・第4火曜日は休館

●サイエンス・サテライト（大阪府大阪市北区扇町）

TEL 06（6316）8110 扇町キッズパーク3F

月曜日、祝祭日の翌日は休館